

平成26年度広島県合同輸血療法委員会

## 平成25年度事業実施報告

## 平成25年度に実施した活動・事業

- 広島県合同輸血療法委員会 H25.7.27
- 広島県合同輸血療法研修会 H26.2.15
- 輸血療法に関するアンケート調査の実施 H25.11
- 医療機関からの相談応需事業  
(実地相談)の実施 H25.9～12
- 広島県合同輸血療法委員会幹事会(4回)  
① H25.5.11 ② 10.26 ③ H26.1.11 ④ 3.8

## 広島県合同輸血療法委員会の目的

広島県合同輸血療法委員会設置要綱(H23.5.25設置)

(目 的)

第1条 本会は、医療機関における輸血療法委員会相互の情報交換を図り、広島県内における輸血医療の標準化をめざすものとする。

## 広島県合同輸血療法委員会

- 日時 平成25年7月27日(土) 15時～17時
- 場所 KKR広島
- 内容
  - 平成24年度の実績報告
  - 平成25年度活動計画について
  - 特別講演  
演題 「輸血用血液の安全性向上への変遷」  
講師: 田中純子先生(広島大学大学院医歯薬保健学  
研究院 疫学・疾病制御学 教授)

## 委員会・研修会の開催状況

H23.5.25	広島県合同輸血療法委員会の設置 (医療機関16、学識経験者3、関係団体5、事務局3)
H24.7.28	広島県合同輸血療法委員会の開催 ○H24年度活動計画について ○特別講演: 紀野修一先生(旭川医科大学付属病院准教授) ～旭川医科大学病院における輸血療法委員会活動～
H25.2.2	広島県合同輸血療法研修会の開催 ○H24年度アンケート調査結果○医療機関の事例発表 ○特別講演: 福田英一先生(順天堂大学医学部麻酔科学・ペイン クリニック講座教授) ～「危機的出血への対応ガイドライン」を生かすために～
H25.7.27	広島県合同輸血療法委員会の開催 ○H25年度活動計画について ○特別講演: 田中純子先生(広島大学大学院医歯薬保健学研究 院教授) ～輸血用血液の安全性向上への変遷～
H26.2.15	広島県合同輸血療法研修会の開催 ○H25年度アンケート調査結果○医療機関の事例発表 ○特別講演: 大戸 斉先生(福島県立医科大学 輸血・移植免疫 学教授)

## 広島県合同輸血療法研修会

- 日時 平成26年2月15日(土) 15時～18時
- 場所 国保会館 6階 大会議室
- 内容
  - 輸血療法に関するアンケート結果報告
    - 広島大学病院 輸血部長 藤井輝久先生
  - 医療機関の取組みについての事例発表
    - 広島市立安佐市民病院 JA広島総合病院
  - 特別講演  
「全医療人で達成する良質な輸血医療」  
■ 講師: 福島県立医科大学 輸血・移植免疫学 教授  
大戸 斉先生

## 輸血療法に関する実態調査の実施

- **調査の目的**：広島県の医療機関における輸血療法の現状と実態を把握すること。
- **実施主体**：広島県合同輸血療法委員会  
(平成25年度厚生労働省血液製剤使用適正化方策調査研究事業の一環)
- **調査期間**：平成25年11月7日～29日
- **調査対象**：平成24年度に広島県輸血用血液製剤供給量の上位100位以内の医療機関及び以前の調査で対象であった医療機関等全137医療機関
- **調査方法**：郵送によるアンケート調査(記名調査)
- **調査項目(抜粋)**：
  - 「医療機関の概要」(病床数及び診療科数等)
  - 「輸血療法委員会について」
  - 「現時点での輸血管理体制について」
 などの8分野・31項目
- **回答数/回収率**：95施設/69.3%

## 医療機関からの 相談応需事業(実地相談)の実施 3

### 5 実施結果の概要(主な相談内容及び助言内容)

- ・輸血検査システム：BDT・電子カルテ等の連携
- ・検体の取り違え防止策の構築
- ・同意書の内容の確認徹底
- ・期限切れ廃棄の削減のため在庫は最小限に
- ・輸血後感染症検査の実施及び啓発
- ・感度の良い検査法の検討
- ・輸血療法委員会の設置、病院規約内の位置付け
- ・有害事象・副作用対策のマニュアル化
- ・検体保管方法の検討(冷凍保管、区分化)
- ・診療録に検査・処置・診療報酬を統合した電子カルテ化 等

## 医療機関からの 相談応需事業(実地相談)の実施 1

### 1 目的

県内の医療機関において、血液製剤の適正使用について、指針への適合を模索している機関に対し、助言及び実地相談を行い、県全体の輸血療法の標準化を図ることを目的として実施した。

### 2 内容

各医療機関が、血液製剤をどのように使用しているか、実際に医療機関を訪問して確認し、医療機関からの相談に応需するものである。

医療機関からの支援要望に対して、施設規模にかかわらず輸血医療の底上げを図るもので、「出前研修とコンサルティング」をイメージしている。

日本輸血・細胞治療学会のI&Aマニュアルを参考に委員会が独自のチェックリストを作成し、医療機関及び訪問者の相互で確認しながら実施した。

## 広島県合同輸血療法委員会幹事会

開催回	年月日	概 要
第1回 (赤十字血液センター)	H25.5.11 (土)	1 平成24年度の報告 2 平成25年度広島県合同輸血療法委員会の開催について 3 平成25年度のアンケート実施について 4 平成25年度委託事業への応募について 5 平成25年度年間計画
第2回 (赤十字血液センター)	H25.10.26 (土)	1 県内医療機関への血液製剤使用状況等実態調査について 2 医療機関からの相談応需事業について 3 平成25年度研修会の開催について 4 厚生労働省「血液製剤適正化方策調査研究事業」の受託について
第3回 (赤十字血液センター)	H26.1.11 (土)	1 平成25年度研修会の開催について 2 医療機関からの相談応需事業について 3 アンケート調査の状況について 4 厚生労働省受託研究事業について
第4回 (赤十字血液センター)	H26.3.8 (土)	1 平成25年度輸血療法委員会報告書の作成について 2 訪問相談事業の通知内容について 3 平成26年度合同輸血療法委員会の開催について 4 平成26年度アンケート調査の方向性について 5 平成26年度年間計画について

## 医療機関からの 相談応需事業(実地相談)の実施 2

### 3 実施医療機関

- (1) 平成25年 9月13日 病院A
- (2) 平成25年 9月20日 病院B
- (3) 平成25年12月16日 病院C

### 4 実施者

広島県合同輸血療法委員会の委員(医師及び検査技師)  
事務局(赤十字血液センター職員及び業務課職員)

計 3名又は4名

## 今後の課題・取組み

県合同輸血療法委員会が、医療機関～血液センター～行政間における情報の共有と情報交換の場(軸)として活動を行い、輸血医療の標準化を進展させることを目指して活動を継続する。

- 合同輸血療法委員会及び研修会の開催の継続
- 県内医療機関への輸血療法に関する調査の継続
- 県内医療機関のレベルアップのための相談応需事業の継続
- 輸血医療の変遷に対応した活動・調査